

結果ではなく過程 そして今の力を出し切ったか

第1回定期考査が終わりました。家庭で勉強する習慣がついた人は、すぐに結果が気になるかもしれませんが、結果(テストの点数や成績)が出る前に、試験前の取組つまり過程も振り返っておきましょう。学習習慣をつける6つのポイント[毎日決まった時間に勉強する、短時間でも毎日継続する、復習を習慣にする、宿題はその日のうちにすませる、スマホやゲームをする時間を制限する、小さな成功体験を積み重ねる]は実行できたでしょうか。

さて、明日は部活動激励会が行われます。部活動によってはすでに区内大会が終了している部もありますが、ほとんどの部は20日(土)以降に大会が控えています。学校外でスポーツや文化活動をしている人もこれからが本番ではないでしょうか。特に3年生は最後の公式戦に向け、気持ちが高まっていることでしょう。スポーツも文化活動も競技やコンクールになると勝敗や順位がつきます。しかし、本当に大切なことは、これまでの練習・積み重ねを信じて、自分の力を出し切ることです。一つ一つのプレーに集中し、一瞬一瞬にすべてを込めるという気持ちで臨んでほしいと思います。選手として試合に出場する人、応援で選手の後押しをする人、すべての皆さんにとって実りある試合・コンクールとなることを祈ります。

沖田中だより

北九州市立沖田中学校
校長室通信
第4号
校長 安部朋恵

保護者・地域の皆様へ

本校の体育館前にある2本の桜の木は、長年にわたり子どもたちの成長を見守り、地域の皆様にとっても大切な思い出の風景となってきました。季節ごとに咲く美しい花は、多くの方の心に残るものだと思います。

一方で、これらの桜は樹齢を重ね、老木となっております。現在、一部の枝が大きく張り出し、登校する生徒の頭上・給食トラックの上部にかかっている状況があり、枯れた枝がたびたび落下する危険が確認されています。安全確保の観点から、万が一の事故を未然に防ぐことは、学校として最も優先すべき責務です。

そのため本校では、専門業者の助言を受けながら、必要最小限の範囲で太い枝を元から切り落としたり、全体の枝を大幅に切り詰めたりする強剪定を行うことといたしました。あくまで「伐採」ではなく、桜の木そのものをできる限り残し、今後も大切にしていきたいための措置です。

思い出深い桜に手を入れることに、寂しさやご心配を感じられる方もいらっしゃると思います。しかしながら、子どもたちの安全と、桜をこれからも長く守り育てていくための判断であることをご理解いただけましたら幸いです。

今後も本校では、自然環境を大切にしながら、安全で安心できる教育環境の整備に努めてまいります。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

生徒の善行について

●先日、お子さんが中尾小学校に通っている地域の方からお電話がありました。放課後、自転車に乗っていたお子さんが転倒して、ケガをしたそうです。「そこに通りかかった中学生が声をかけてくれ、手当てのために自分が持っていた絆創膏を貼ってくれました。4人の男子生徒でしたが、お名前が分からないので、学校にお礼の電話をしました。」とお礼を言ってくれました。

各学級で尋ねたところ、4名の3年生であったことが分かりました。

●6月14日(日)に「金山川ごみゼロ・クリーン清掃」が行われました。参加するボランティアを募集したところ、各学年から合計で20名を超える生徒の応募がありました。学校から呼びかけるボランティアに毎回参加している生徒もいる一方で、初めて参加する生徒もたくさんいました。

●沖田中学校の皆さんの中で、善意の輪が広がっていくことに期待します。